

産業能率大学 経営学部

フィールド調査の基礎	履修年次	2	
	単位	2	
中島 智人、漆田 隆司、高原 純一	配当期	前	
	授業方法	演習/対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>具体的には、実際に自由が丘の街を対象に、学生自らが現地に出かけ、現地を詳細に観察し、五感を活かして(歩いて、見て、聞いて、考える)、そこで生じている様々な活動や現象を徹底的に調べあげる。そして、そこでの体験や発見を通し、対象地域の現状特性や魅力・問題点を把握・分析し、対策(解決策や改善提案)を打つための能力を身につける。また、現地調査を通して、や関連するデータの収集方法、またそれらの分析方法などフィールド調査に関わる基礎的な知識を習得し、また実習を通してその活用方法を体験学習する。</p> <p>実習は2回を予定しており、いずれもグループ単位で行う。受講生は、現場の問題点の把握、分析、解決案の立案などを、グループを通して行うことで、グループによる課題解決やグループ内でのコミュニケーション力の向上も期待される。なお、本科目では、グループワークの比重が非常に高いため、グループ調査(事前準備、まとめ、発表時を含む)に欠席の学生は、評価の対象外とする。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・定性調査と定量調査によるフィールド調査技法が理解できる。 ・調査コンセプトの決定～実査～まとめ・分析までの一連の流れを理解でき、実践に移せる。 ・調査結果の分析をグラフ等で効果的に表現できる。 			
成績評価の方法			
課題(グループプレゼンテーション資料×2回、個人レポート×2回)と、授業外学習、出席点の総合評価で最終評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス(授業の進め方と到達目標、評価基準の説明)を行う	8	1回目調査:実習結果の発表を行う
2	フィールド調査の事例を学ぶ:調査分析プロセスと技法	9	2回目調査:調査準備(テーマと調査手順をグループで決定する)
3	自由が丘の街を知る(歴史、エリア別の街の特徴)	10	2回目調査:実査調査実習を行う
4	1回目調査:調査準備(テーマと調査手順をグループ演習で決定する)	11	2回目調査:調査結果を分析して、発表資料作成を行う
5	1回目調査:実査街に出て、グループテーマに基づき実習を行う	12	2回目調査:実習結果の発表を行う
6	1回目調査:調査結果を分析して、発表資料作成を行う	13	2回目調査:実習結果の発表を行う
7	1回目調査:実習結果の発表を行う	14	フィールド調査のまとめを行う